

2025 年度 長岡大学シラバス

授業科目名	地方行政 (Local Administration)					担当教員	牧野 智一 (マキノ トモカズ)	
2020-23 年度 入学者 (20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL
	2037-1-33-098	専門科目	選択	2 単位	3 年次	前期		
2024-25 年度 入学者 (24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL
	2437-1-33-037	専門科目	選択	2 単位	3 年次	前期		

① 授業のねらい・概要
県や市町村等の地方自治体は、私たちにとって最も身近な「政府＝役所」である。地方自治体は、水道や道路などの社会基盤（インフラ）、学校教育や住民福祉等の様々なサービスを提供している重要な機能を果たす機関でありながら、ほとんどの人々はその役割や仕組みについてあまり知らないと思われる。かつての地方自治体は、国の政策に基づき運営されており、全国でほとんど同じような政策運営が行われていた。しかしながら、現在では地域格差が著しく、地方創生を進める必要があるため、地方自治体にはそれぞれの状況に応じた柔軟な政策運営が求められている。 本講義では、地方自治体が果たすべき役割やそのための仕組みについて学修する。本講義の最終的な目的は、学修で得た知識をもとに地方行政の諸問題を自らの判断で考察する能力を養うことである。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力／情報収集・分析力
③ 授業の進め方・指示事項
講義形式の授業を行う。各回の授業内容は関連しているため、十分な復習をした上で授業に臨むこと。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
「地域産業政策」「地域経営」と共に履修することを推奨する。
⑤ テキスト（教科書）※授業で使用する。
なし。適宜、資料等のプリントを配布する。
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
今井照 (2017)『図解よくわかる地方自治のしくみ』学陽書房 森田朗 (2017)『新版 現代の行政』第一法規
⑦ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
昨年度に引き続き、学生諸君が授業内容を理解しやすいように、わかりやすい表現と丁寧な解説を心掛けて授業を行う。
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 授業で取り上げた地方自治の変遷と自治体と住民の関係のいずれかは他者に適切に説明でき、他方はある程度説明できる。 (ii) 授業で取り上げた地方行政の役割や仕組みの全般を他者にある程度説明できる。 (iii) 現在の地方行政について、授業内容を関連させた考察が全般的にできる。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 地方自治の変遷や自治体と住民の関係	授業で取り上げた地方自治の変遷と、自治体と住民の関係のどちらも他者に適切に説明できる。	授業で取り上げた地方自治の変遷と、自治体と住民の関係のいずれかは他者に適切に説明でき、他方はある程度説明できる。	授業で取り上げた地方自治の変遷と、自治体と住民の関係のどちらも他者にある程度説明できる。	授業で取り上げた地方自治の変遷や自治体と住民の関係のいずれかは他者にある程度説明できる。	授業で取り上げた地方自治の変遷や自治体と住民の関係を他者にほとんど説明できない。
(ii) 地方行政の役割や仕組み	授業で取り上げた地方行政の役割や仕組みの全般を他者に適切に説明できる。	授業で取り上げた地方行政の役割や仕組みの全般を他者にある程度説明できる。	授業で取り上げた地方行政の役割や仕組みの大半を他者にある程度説明できる。	授業で取り上げた地方行政の役割や仕組みの一部は他者にある程度説明できる。	授業で取り上げた地方行政の役割や仕組みを他者にほとんど説明できない。
(iii) 地方行政についての考察	現在の地方行政について、授業内容を関連させた考察と適切な根拠を持った考察が全般的にできる。	現在の地方行政について、授業内容を関連させた考察が全般的にできる。	現在の地方行政について、授業内容を関連させた考察や根拠を持った考察がある程度できる。	現在の地方行政について、授業内容を関連させた考察や根拠を持った考察が一部できる。	現在の地方行政について、授業内容を関連させた考察も根拠を持った考察が行うことができない。

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	70%				30%		100%
(i) 地方自治の変遷や自治体と住民の関係	15%				10%		25%
(ii) 地方行政の役割や仕組み	15%				10%		25%
(iii) 地方行政についての考察	40%				10%		50%
フィードバックの方法	提出されたレポートの内容についての総評を公表する。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	オリエンテーション	地方行政役割等について自分なりに考えてくる。	60 分
2	地方自治とは	地方自治や地方自治体についての理解	180 分
3	日本における地方自治制度の変遷	地方自治制度の変遷についての理解	180 分
4	国と地方自治体の関係	国と地方自治体の関係についての理解	180 分
5	市町村と都道府県の役割分担	市町村と都道府県の役割分担についての理解	180 分
6	自治体政策や自治体の仕事の区分	自治体政策や自治体の仕事の区分についての理解	180 分
7	自治体と住民の関係	自治体と住民の関係についての理解	180 分
8	住民の自治体行政への参加	住民が自治体行政に参加するための権利についての理解	180 分
9	自治体の基本構想と政策マネジメント	自治体の基本構想と政策マネジメントについての理解	180 分
10	自治体議会の役割	自治体議会の役割についての理解	180 分
11	首長の役割	首長の役割についての理解	180 分
12	首長と自治体議会の関係	首長と自治体議会の関係についての理解	180 分
13	自治体の財政のしくみ	自治体の財政のしくみについての理解	180 分
14	自治体の財政の現状と問題点	自治体の財政の現状と問題点についての考察	180 分
15	まとめ	各回の講義内容の整理と理解	240 分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL を採用する。各回の授業に対するコメント（感想・質問等）を学生諸君よりもらい、翌週の授業で可能な限りコメントに対する回答を行い、学修効果の向上に活用する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性